

# 決算

平成27年度の町の決算概要をお知らせします。昨年度中、町にどんなお金が入ってきて、どんな使われかたをしたのかをご覧ください。  
また、現在の町の財政状況についても、国が定める指標に基づいて公表します。

## 一般会計の歳入・歳出

●表①歳入内訳

歳入総額	27年度歳入額	説明	前年度比
歳入総額	90億3,310万円	—	11.5%
自主財源	町税	町民税、固定資産税、軽自動車税など	▲2.7%
	繰入金	基金や特別会計から一般会計に入った金額	104.5%
	諸収入	延滞金や加算金、預金利息、雑入など	9.6%
	分担金	受益の程度によって徴収する負担金	2.2%
	使用料	町の施設等を利用者が負担した金額	0.7%
依存財源	その他	上記以外の財産収入や繰越金など	70.6%
	地方交付税	国税から一定割合で交付されるお金	12.7%
	町債	町の借金による収入	37.4%
	国庫支出金	事業実施のため国から交付されるお金	23.7%
	県支出金	事業実施のため県から交付されるお金	▲13.7%
財源	地方消費税交付金	消費税のうち町に配分されるもの	59.6%
	その他	上記以外の地方譲与税や交付金など	4.6%

●表②目的別歳出内訳

目的別	27年度歳出額	説明	前年度比
歳出総額	85億7,900万円	—	9.1%
民生費	24億6,423万円	児童から高齢者まで福祉全般の経費	5.0%
教育費	16億720万円	小・中学校など教育関係の経費	91.5%
衛生費	14億6,754万円	健康・衛生的な生活のための経費	46.0%
総務費	11億1,519万円	財産管理など役場運営全般の経費	▲0.5%
公債費	6億701万円	町が借り入れた地方債の償還金	▲7.2%
土木費	4億9,392万円	道路、橋、街路整備・改良、町営住宅管理	▲27.1%
消防費	2億6,905万円	消防や救急活動のための経費	▲4.4%
商工費	2億6,598万円	商工業の振興や観光事業などの経費	32.0%
議会費	1億1,476万円	町議会を運営するための経費	▲1.3%
農林水産業費	1億1,042万円	農業委員会の運営や農業振興経費など	▲12.6%
労働費	4,321万円	復興のための臨時職員雇用などの経費	▲50.9%
災害復旧費	2,013万円	災害による被害の復旧のための経費	368.1%
諸支出金	36万円	その他の支出金	0.0%

1万円であり、普通交付税で3586万円の増、特別交付税で1億9629万円の増により、前年度比12.7%の増となりました。国庫支出金は9億4323万円で前年度より23.7%の増、県支出金は6億6219万円で前年度より13.7%の減、町債は8億2670万円で前年より37.4%の増で、これらの増については金ヶ瀬中学校屋内運動場の整備工事や道路改良等投資的事業に対する補助金及び地方債の活用により増加したためです。

●表②目的別歳出内訳

歳出の主なものを「目的別」で見ると、全体の28.7%を占める民生費は主に民間保育所関連補助金の増額により、前年度と比較し5.0%増の24億6423万円、総務費は西原集会所整備工事などの事業がありました。ほぼ前年度並みで0.5%減の11億1519万円、衛生費は仮称仙南クリンセンター整備に係る負担金の増などにより、46.0%増の14億6754

平成27年度の一般会計決算額は、歳入（町に入ったお金）が90億3310万円、歳出（町が使ったお金）が85億7900万円で、差し引き4億5410万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源の繰越明許費の4219万円を除くと実質収支額は4億1191万円の黒字となりました。

積立金の取り崩しを含めた「実質単年度収支」は2億421万円の黒字となっています。この黒字は、地方消費税交付金や地方交付税の歳入が当初の見込みよりも増えたことによるものです。

●表①歳入内訳

歳入の一番大きい項目は町税であり、昨年度より7815万円少ない27億7929万円となり、全体の30.8%を占めました。地方交付税は20億561

万円、教育費は金ヶ瀬中学校屋内運動場整備工事などにより91.5%増の16億720万円、土木費は町道改良工事の減少により27.1%減の4億9392万円となりました。

また、商工費では川根工業用地取得により32.0%増の2億6598万円、災害復旧費は関東・東北豪雨災害の復旧事業により、前年度よりも368.1%増の2013万円、公債費については前年度までに行なった繰上償還で元利償還金が減少したことにより7.2%減の6億701万円となりました。

南クリンセンター整備に対する負担金等により24.6%増の18億4330万円、投資的経費（普通建設事業費・災害復旧費）で

は、西原集会所整備事業、総合体育館等の施設の太陽光発電設備設置工事、金ヶ瀬中学校屋内運動場整備工事等により前年と

比較して、37.0%増の12億7113万円となりました。

●表③性質別歳出内訳

次に、歳出を「性質別」で見ると、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）では人件費において職員数の減により1.7%減の14億8949万円、扶助費が民間保育所に対する施設型給付事業の新設等により3.8%増の13億1088万円、公債費では前年度までに行なった繰上償還による元

●表③性質別歳出内訳

性質別	27年度歳出額	説明	前年度比
歳出総額	85億6,015万円	—	9.2%
義務的経費	人件費	職員や特別職の給与、共済組合負担金など	▲1.7%
	扶助費	児童・老人福祉など法に基づく援助や教育扶助	3.8%
	公債費	地方債の償還金	▲7.2%
投資的経費	普通建設事業	道路や学校、庁舎等公共施設の建設事業経費	35.4%
	災害復旧費	災害による被害の復旧のための経費	368.6%
補助費等	18億4,330万円	仙南広域や中核病院負担金など	24.6%
物件費	11億304万円	消耗品費や委託料など消費的な経費	▲0.7%
繰出金	7億7,270万円	各特別会計への繰出金	▲3.4%
積立金	8,923万円	基金に積み立てるお金	8,913.1%
維持補修費	3,700万円	公共用施設等の機能を正常に保つための経費	▲24.8%
その他	3,601万円	上記以外の貸付金など	0.0%

※上記の性質別歳出内訳は、地方財政状況調査要領に基づく分析数値のため、目的別歳出内訳の額と相違があります。

<b>※町民一人当たりの町税負担額</b> 総額 117,441円		町民税 51,840円	固定資産税 45,027円
町たばこ税 9,314円	都市計画税 8,604円	軽自動車税 2,566円	入湯税 90円
<b>※町民一人当たりの財政支出額</b> 総額 362,457円			
民生費 104,112円		教育費 67,903円	
衛生費 62,003円			
総務費 47,116円	公債費 25,646円	土木費 20,868円	消防費 11,367円
商工費 11,237円			
議会費 4,849円	農林水産業費 4,665円	労働費 1,826円	災害復旧費 850円
		諸支出金 15円	

※平成28年3月31日現在の人口23,669人で算出しています。